



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

3

No.547



まちひと百景

苫前ひぐま事件

当町で実際にあった獣害史上最大の惨劇と言われる「熊事件」が、紙芝居とDVDになった。

先人の開拓魂と人間と動物の共存について、後世に伝えようと「苫前ひぐま事件紙芝居編集委員」が作成した。

(記事9頁)

- 統一地方選挙 (2頁)
- 第15回北海道凧あげ大会 (3頁)
- 苫前厚生病院運営に係わる住民説明会 (4頁)
- 苫前町乳幼児教育セミナー (6頁)
- 町交通安全協会役員と
交通安全指導員合同研修会開催 (7頁)
- 苫前くま事件の紙芝居が完成 (9頁)
- とままえ寄席で福来る (10頁)
- まなびの情報 (11頁)
- 健康情報 (12~13頁)
- 住まいる情報 (14~15頁)

まちの人口

人口/3,990人 (男/1,881人:女/2,109人)
世帯数/1,716世帯 (2月28日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

4年に1度の統一地方選挙

苫前町選挙管理委員会が実施本部を設置



内田本部長（左）と岡田事務局長

四年に一度の統一地方選挙が来月開催される。二月五日、苫前町選挙管理委員会（内田靖生委員長）では、統一地方選挙実施本部（本部長 同委員長）を設置し、本格的な業務をスタートさせるにあたり、役場庁舎正面入口に実施本部の看板を掲げた。

同実施本部は、庶務・選挙・啓発及び投・開票事務や選挙人名簿の整備、期日前投票事務、ポスターや立看板、道選挙公報などの遂行にあたる。

知事、道議選は四月八日町長・町議選は二十二日が投票日となっている。

町議会は、十三議席から十議席と三議席の減員となる。

内田本部長は「まず投票率をいかにあげるか努力していきたい。選挙の知識は立候補者が十分にもっていると思う。公正な選挙を目指し、戸別訪問など違反行為には十分気をつけてほしい」と話した。

なお、統一地方選挙の告示日と投票日および投票時間、期日前投票のできる場所と期間は下記のとおりです。不明な点は町選挙管理委員会まで

（電話六四 一二二一）

統一地方選挙の告示日と投票日は次のとおりです

区分	告示日	投票日
北海道知事	3月22日	4月8日
北海道議会議員	3月30日	
町長	4月17日	4月22日
町議会議員		

期日前投票のできる場所と期間は次のとおりです（知事・道議）

場所	期間	投票できる時間
苫前町役場 職員休養室	3月23日金から （道議は31日から） 4月 7日土まで	午前8時30分から 午後8時00分まで
苫前町公民館 研修室	4月 4日水から 4月 6日金まで	午後3時00分から 午後7時00分まで
	4月 7日土	午前9時00分から午後7時00分まで

（町長・町議）

場所	期間	投票できる時間
苫前町役場 職員休養室	4月18日水から 4月21日土まで	午前8時30分から 午後8時00分まで
苫前町公民館 研修室	4月18日水から 4月20日金まで	午後3時00分から 午後7時00分まで
	4月21日土から	午前9時00分から午後7時00分まで

投票区にかかわらず、どちらの投票所でも投票できます

投票時間

各投票所で閉じる時刻が異なりますのでご注意ください。

投票区	第1（苫前・栄浜・旭） 第2（古丹別）	第3（力屋） 第5（長島・香川） 第6（九重） 第12（港・三豊）	第4（上平） 第7（三溪） 第8（岩見） 第9（東川） 第10（豊浦・興津・昭和） 第11（小川）
時間	午前7時から 午後7時まで	午前7時から 午後6時まで	午前7時から 午後5時まで

苫前マリンビジョン協議会の凧



選手宣誓をする横内さんと瀬川さん

第15回北海道凧あげ大会兼第34回苫前町凧あげ大会が、2月25日(日)とままえ温泉ふわっと・とままえ夕陽ヶ丘オートキャンプ場で開催され、338名・174基の凧が空高く舞い上がった。開会式前には、苫前町ライオンズクラブ(伊藤修会長)と苫前建設協会(渡部一男会長)から実行委員会へ寄贈を手渡された。

午前9時30分、大会長である森町長の「今年も元気に空高く凧を上げ、参加者はもとより、町民の皆さんで、良い年にしましょう」とあいさつ。苫前小学校6年生の横内菜摘さんと瀬川智未さんが元気に選手宣誓を行い開幕した。

開会式終了後に親子の部、小学校1、2年生から連凧の部までの選手が凧上げ会場へ移動し、早速、準備を開始。スタート直後は、無風に近い状況で、おとうさん、おかあさんたちは、会場狭しと子どもの凧を手に走りまわり、息を切らし、汗をかいていた。

しかし、参加者の声が天に聞こえたか、午前10時の審査時間頃になると絶好の風が吹き始め、チャンス到来。参加者の世界にひとつしかない凧が次々に大空に舞い上がった。また、連凧の部では古丹別スキー少年団の団員が、将来の夢を書き収めた1枚1枚の希望の凧が団結しながら、空高く舞っていた。



航空管制官になりたい、タレントになりたいなど将来の夢を凧に書き団結して連凧を上げる古丹別スキー少年団員と父母の皆さん



空高く上がった凧を見つめる参加者

午前11時から、中学生、高校、一般、大凧の部がスタートした。苫前地域マリンビジョン協議会の大凧は、総勢22名で必死に何度も挑戦していた。

今年も三重県桑名市長島から5年連続で中川慧明さん、2年連続で堀忠昭ご夫妻も参加した。

特産品・売店コーナーでは、朝8時からナメタカレイを求める来場者が長蛇の列をつくっていた。また、無料配布のホタテの味噌汁も人気を集め、鬼鹿厚生園のホカホカのパンは飛ぶように売れていた。その他の魚介類やたこ焼き、陶芸品など数々の特産品が通路をうめ、ふわっと周辺は、2500人の来場者でにぎわった。

午後1時からの皿回し大道芸人の金田一輝雄さんのアトラクションでは、会場の子ももステージ上で、皿回し体験するなど、1日で「凧あげ」と「皿回し」の両方を楽しむことができた。

今年初めて登場した「イベント通貨券」で豪華景品があたる抽選会や、フィナーレの大もちまき大会も賑わいをみせていた。北海道大会として15回、町民大会として34回目の大会が最高の天候と最高の笑顔で終了した。



皿回しに挑戦する、子どもたち(右)と6枚の皿まわしに挑戦する森町長(左)



大会入賞者

親子の部

●佐藤美智子・陽来 清水 亜紀・将 下田美雪・和歩 高田和彦・健寛 久保孝・慧太郎 鈴木はるか・恋斗

小学校一・二年生の部

●伊藤広起・青柳沙弥香 川村茉以 木村皐月 赤坂丈 本田脩陽

小学校三・四年生の部

●伊藤江美 北村拓磨 内聡 北見将 鈴木理久 川村句輝

小学校五・六年生の部

●青柳康平 川村優利菜 白府佳歩 川村菜月 久保亜莉奈 瀬川知未

中学生の部

●鳥羽優奈 檜谷早耶香 西村理穂 猪股祐哉

高校・一般の部

●広田英美 羽幌警察署苫前駐在所ブロック 苫前町高齢者事業団C 伊藤恭子

大凧の部

●伊藤クロード 猪股石油店 苫前町商工会青年部 無限樹

連凧の部

●大正琴サークル 苫前町の会 古丹別スキー少年団 苫前郵便局

特別賞

山根海(小学校五・六年生の部)

苫前厚生病院運営に係わる住民説明会

古丹別地区を無医地区にはしない

森町長が国・道へ財政支援策を要請する
北海道厚生農業協同組合連合会が町に赤字全額補てんを求める



苫前厚生病院

二月二十一日、午後六時三十分から、厚生病院の今後の運営に係わる住民説明会が町公民館で行われた。
生活して行くために欠かすことのできない病院、医療に関する問題と言ったこともあり、当日は約百五十人もが出席した。
町からは、森町長と町民課開発主幹、北留萌消防組合古丹別支署より伊藤支署長と対馬主幹が出席した。
森町長は、年末年始にかけ各地区総会等へ出席し、病院の現状などを説明してきた。今後とも町民の健康、福祉を守り、古丹別地区を無医地区にはしない。そのためには、国や道の支援を要請しながら最善の方法を考えたい旨を述べた。
また、臨床研修医制度が、地方の病院を苦しめていると指摘し、全道の九町（一般病院）厚

生連の病院の現状や道立羽幌病院の医療体制の現状なども説明した。
苫前厚生病院運営に係わる今後の方針について（案）下記表の資料をもとに説明した。
現行では収支見込額が医師二名体制で、一億六百一十萬円の赤字額であるが、医師二名病床数を一般0、療養（医療）三十二床、療養（介護）八床にすることにより、収支見込額が、一億八十三萬四千円の赤字額となる。
平成十九年四月より、夜間・救急対応をなくし、医師一名、看護師等を五名減員することにより、七千五百八十三萬四千円の赤字額となり、平成二十年四月より無床診療所と老健施設（四十床）にした場合の収支見込額は、四千九百四十七萬九千円の赤字額となり、現行赤字額の



説明会の様子

苫前厚生病院運営に係る今後の方針について（案）

平成18年12月現在

《現行》

病床数	40床
一般	20床
療養（医療）	12床
療養（介護）	8床

収支見込
△ 106,110千円

医師2名体制

当 面 の 機 能

《すべて療養病床》 ※夜間・救急対応あり

病床数	40床
一般	— 床
療養（医療）	32床
療養（介護）	8床

収支見込
△ 100,834千円

医師2名体制

《すべて療養病床》 ※夜間・救急対応なし

病床数	40床
一般	— 床
療養（医療）	32床
療養（介護）	8床

収支見込
△ 75,834千円

医師2名体制
（看護師等5名減）

将来の医療機能

《無床診療所＋老健施設》 ※夜間・救急対応なし

無床診療所
＋
老健施設（40床）

収支見込
△ 49,479千円

医師2名体制
（診療所と老健施設
専従医との兼務不可）

約半分となると試算を説明した。次に、伊藤支署長と対馬主幹から、平成十六年から平成十八年十二月末日までにおける救急出動状況について説明があった。(下記表平成十八年の状況)

説明後の出席者からの質問では、救急車の搬送先受入の不安や夜中に子どもやお年寄りが、急に具合が悪くなった場合の心配。病院関係者からは、夜間診療を一切しないのであれば、町民に周知徹底してほしいなど不安や心配な声が聞かれた。

森町長は、このような状況から、道内の厚生病院九町の代表として、佐呂間、美深の町長らと二月二十二日に上京し、総務省等を訪問し、国からの援助措置を要請すると同時に道にも同様に要請する予定だ。

現在、毎年の赤字額の三分の二の金額を町が補助している。このほかにも病院建設費等も補助しており、町としても財政状況は非常に厳しい。

ただ、道厚生連としても全道の病院運営が厳しい状況は同じで、昨年十二月の当町を含む九町の首長会議にて、各自自治体に対して、赤字額の三分三の全額を負担してもらうことが厚生連運営上の絶対条件としている。

また、道立羽幌病院は、四月から常勤医十人が七人に減る。町としては、今後も国や道など関係団体や病院関係、消防組合などと協議を深めて行く予定である。

救 急 出 動 状 況 平成18年(1月1日～12月31日現在)

出動件数 122件 搬送人員 122人

【搬送人員事故種別内訳】

事故種別	人数
交通事故	9人
労働災害	1人
運動競技	1人
一般負傷	16人
自損行為	1人
急病	59人
転院搬送	35人
計	122人

【収容先医療機関別人員内訳】

医療機関名	人数	備考
苫前厚生病院	48人	39.3%
事故種別内訳 急病：35人 交通：6人 一般：6人 運動：1人		
苫前厚生病院	39人	32.0%
留萌市立総合病院	29人	23.8%
旭川厚生病院	3人	2.5%
旭川赤十字病院	1人	0.8%
セントラルクリニック(留萌)	1人	0.8%
わたなべ耳鼻咽喉科(留萌)	1人	0.8%
計	122人	100.0%

【苫前厚生病院からの転院搬送内訳】

留萌市立総合病院	24人
道立羽幌病院	6人
旭川厚生病院	3人
わたなべ耳鼻咽喉科(留萌)	1人
旭川赤十字病院	1人
計	35人

【苫前厚生病院からの転送内訳】

急病：道立羽幌病院	1人
一般負傷：留萌市立総合病院	3人
セントラルクリニック	1人
計	5人

ファイヤー通信

資器材整備で防火思想の普及を！

消 防 団 員 募 集

消防団では消防団員を募集しています。苫前町を防災から守り災害の無い町づくりに参加してみませんか？消防団員の待遇は非常勤の地方公務員であり、報酬、災害出動手当が支給され、公務災害補償等も受けられます。消防団に興味がある方は是非ご連絡下さい。

<任用条件>

- (1) 苫前町内に居住している者
- (2) 年齢が18才以上の者
- (3) 身体強健な者(心身に故障がない者)

連絡先

北留萌消防組合消防署古丹別支署 65-4119
北留萌消防組合消防署苫前支署 64-2321

“消防団員の職務は災害活動が基本であり、そのための訓練や防火啓発活動を行っています。いざという時には真っ先に駆けつけ、災害から苫前町を守るリーダー、それが消防団です!!”



火事・救急は119番！

北留萌消防組合消防署 苫前支署 64-2321
" 古丹別支署 65-4119

苫前町乳幼児教育セミナー

絵本つてステキ、子どもの本つておもしろい

二月十七日(土) 苫前町幼児教育セミナーが、古丹別保育所で開催され、乳幼児を持つ母親や保育園、保育所の先生方約二十人が出席した。

主催者である伊藤通康社会教育課長は、「特に近年は家庭の教育力の低下や地域の子どもを育てる力が欠如しております。また、携帯式のゲーム機が本離れに拍車をかけている傾向にある。今こそ、保育園(所)などを含めた教育機関の連携・融合が重要である」と述べ、「読書



講師の福田洋子さん



2月16日古丹別保育所で開催された移動図書館の様子

は心の宝石箱、本が持つ計り知れない力をもっと活用してほしい」と挨拶。講師は、旭川市にある「子ども富貴堂」の福田洋子店長が講演。福田さんは、旭川短大非常勤講師や北海道新聞「こどもの本」欄執筆のほか、講演会や絵本原画展などを長年にわたり手がけているほか、全道の図書館や公民館などで講演や講座を行っている。

当日は「絵本つてステキ、子どもの本つておもしろい」と題して、持参した「ちからたろう」や「いないいないばあ」「ぐりとぐら」などの絵本を読み聞かせながら、絵本が持つ魅力と親

子のふれあいについて、約九十分の講演を行った。

福田さんは「俳句や短歌調で読んであげると聞く方も読む方も気持ちが良い」と話し、「子どもをしっかりと見てあげること。子どもと過ごす時間をできるだけたくさん持つことが大切である」と述べた。

また、今セミナーは、日赤奉仕団員のボランティアにより、別室に託児所を設けるなど、母親などができるだけ参加しやすい体制をとっており、参加者からの評判も上々である。

社会教育課では、今後も各種事業において、子育て真最中のお母さん方も参加しやすい体制で各種事業を展開する予定です。子育て事業や公民館事業など、ご不明な点などありましたら是非ご連絡下さい。

電話 六五 四〇七六



読み聞かせに吸い込まれる子どもたち

笑顔がいつぱいふれあいクラブ

最初に創作活動として、木製フトフレイムキッドが配られ、木製ボンドを手に細かいキッドを貼り合わせ行く作業に取り組んだ。

長島老人クラブの丹羽禮二郎さんは「フレイム部分の細かい作業が難しい」と笑顔で感想を述べた。

次に、下田社会教育主事の指導のもと、平衡感覚などを測定する体力テスト運動に挑戦した。その後はレストランで、おしゃべりいつぱいの昼食会を行い、午後の部は、町保健師による健康相談と温泉にゆつたりと入浴し、楽しい一日を過ごした。



一月二十六日(金)町が社会福祉協議会へ委託している在宅高齢者介護予防普及事業の一環である「ふれあい倶楽部」が、とままえ温泉ふわつとで開催された。

社会福祉協議会では、町内の老人クラブを三グループに分け、年間三回開催する予定である。今回は、古丹別幸楽会、香老園、長島、岩見親和会、東川行楽園の老人クラブが対象で参加者は三十四人。



町交通安全協会役員と

交通安全指導員が

合同研修会開催

二月三日（土）町交通安全協会と交通安全指導員合同研修会が、役場の大会議室で行われた。

齋藤栄一町交通安全推進協議会副会長（助役）が日頃の交通安全推進活動に対するお礼と今後とも更なる活動の充実、協力をお願いした。

研修会では北留萌消防組合消防署若前支署二名、古丹別支署一名の職員が講師を務めた。



最初に草薙勇救急係長が二月より稼働可能になった最新式高規格救急車の装備機器等について、これまで以上に高度な処置が可能になり、一人でも多くの命を救うことができる装備が整ったことなどを説明した。

次に、平成十八年に出動した百二十二件の搬送内容などを説明した。実技では、心肺蘇生法AED（自動体外式除細動器）や止血法、応急手当などについて約三時間学習し、その後、羽幌警察署若前駐在所の松下道信所長より、交通安全についての講話とビデオ「検証、混合交通二十四時間」を鑑賞し研修を深めた。

受講した十五名の交通安全指導員らは、応急手当等の場面に遭遇することがないことを望むが、もしもの場合に備え、このような講習はとても大切だと感想を述べていた。

北海道善行賞を受賞

交通安全指導員

五反田久さん（古丹別）

二月八日（木）町長室にて五反田久さんが、松岡治留萌支庁長から交通安全実践者として、北海道善行賞を受賞した。

五反田さんは、交通安全運動の街頭指導や小学校の青空交通安全教室など積極的に参加協力してきた。

十八年の長きにわたり交通安全意識の啓発及び事故防止に尽力されたことなどが認められたものである。五反田さんは、松岡支庁長、森町長との懇談において、「今後もこの受賞を励みに交通安全推進に尽力したい」と話していた。



五反田さん(左)と松岡支庁長(右)

「文芸」

若前町文芸を語る会

(短歌)

慎ましく生ききてこの冬雀等の元氣な囀り親しかりけり
栄浜 横内 弘子

ふりむけば夢の如くに早かりき春の太陽かがやきわたる
長島 水谷 露子

すくすくと育ちゆく居間の蘭の花春は近しと心ほころぶ
古丹別 木幡とく子

人恋ふる鳴らぬ電話は無機質に拒絶サインの心見透かす
古丹別 大矢根亮子

(俳句)

ひとすじの黒き流れや冬の川
古丹別 桑 風

春の午後猫ひざの上縁に座す
古丹別 林 千代美

(文責・大矢根)

川柳

初孫を 壊れないかと そつと抱き
古丹別 運上 吉雄

税収め 肩身狭くし 隅で吸い
古丹別 今新きみ子

血の通う 子に託したい 介護の手
古丹別 斎数 範章

あそこにも 此処にも 亡妻と地団の旅
古丹別 関 武

老い少し 追む日めぐり 今朝もはぎ
古丹別 鎌田 信夫

(文責・鎌田)

苫前建設協会で総会

一月二十六日(金)苫前建設協会(渡部一男会長)の第四十二回通常総会がとままえ温泉ふわっと会議室で行われた。

渡部会長は「今後モ何かと厳しさが増すことが予想されますが、一丸となり頑張りましょう」とあいさつ、議案審議が行われた。

平成十九年度の収支予算は二百六十九万五千九百九十三円。役員改選については全員留任となり、会長渡部一男、副会長山本啓一、理事千葉國雄、加藤興一、監事小倉哲志、鈴木栄三で任期は二年間。(敬称略)現在会員数は十八社となっている。



岡田八重子さん(苫前)が200万円を町に寄付

2月14日、岡田八重子さん、裕幹さんが町長室を訪れた。昨年末にご主人(故:岡田忠様)が逝去され深い悲しみのなか、町産業資金の振興に利用下さいと、森町長に200万の指定寄付を手渡した。

森町長は、「厳しい財政状況の下、このようなご寄付をいただき深く感謝します」「本町の発展のため有効に活用させていただきます」とあいさつを行い、しばし町長室で歓談した。



寄付を受け取る森町長と岡田八重子さん、裕幹さん

JA女性部が苫前幸寿園慰問

2月5日、JA苫前町女性部(大矢根勝代部長)会員20名が苫前幸寿園を慰問した。挨拶で大矢根部長は「世間では、親が子どもを殺害する事件や親の看病に疲れ果て、子が親を殺害する事件などが報道されています。入所されている皆様は幸せです。職員の皆さんが優しくお世話してくれ、こんな幸せなことはありません」と激励した。舞台では、カラオケやゆかいなおどりが披露され、入所者の皆さんは手拍子をしながらかわいひとを過ごした。



豆まき

二月二日(金)苫前保育園(打田美智子園長)、古丹別保育所(川森のり子所長)で「豆まき会」が行われた。

苫前保育園は、苫前支署の消防職員二名が赤鬼、青鬼となり大暴れた。園児らは負けずに「鬼は外」と叫びながら豆をぶつけて鬼を退治した。

また、古丹別保育所では、ひとり一人が自分の中に潜んでいる「ねぼすけ鬼」や「泣きべそ鬼」など自身のきらいな鬼などを発表してから、赤鬼に扮した川森所長に元氣よく「鬼は外」と豆をぶつけながら鬼を退治した。



川森所長が赤鬼に...

た。両保育園(所)とも「豆まき会」を行い、一年の無病息災を願った。

一日体験入学

二月十五日、町内各小学校で、新一年生の一日体験入学が行われた。古丹別小学校(中山康彦校長)では、対象者十三人に対して、風邪などで五人が欠席、八人の新一年生と父母らが体験入学をした。中山校長先生が、新一年生と一緒に歌と踊り付きの「どんぐりころころ」を歌い、子どもたちの心は安らいだ。次に、父母らは小学校の概要や入学に向けての諸準備などの説明を受けた。

一方の新一年生は、一年生の教室で一から二十五までの数字を書く練習やマスの中に書いた数字を使ってピンゴゲームをしたり、白い紙の皿に自分の顔を描いたりする体験を行った。お兄さんお姉さんにあたる現在の一年生は、優しく丁寧に新一年生に教えていた。四月六日には入学式が行われ、小学校六年間の義務教育がスタートする。



新1年生(左)と優しく教える新2年生(右)

苦前くま事件の紙芝居が完成 DVDも登場

2月23日(金)公民館にて「苦前ひぐま事件」の紙芝居とDVDの完成記者発表が行われた。これは、昨年の郷土史研究会の総会後の放談会で、「実際にあった獣害史上最大のヒグマ事件と開拓の精神を後世に伝える上手な方法はないか」と考え、紙芝居とDVD版を作ることを決意した。

昨年6月に、苦前ひぐま事件紙芝居編集委員会(野澤哲美委員長ほか6名)を立ち上げ、「史実」と「くま獅子少年団の舞」などを組合せながら、主に松岡満雄事務局長が執筆し、野澤委員長が絵を担当した。

DVD版は、大道芸人の牧三四郎さん(札幌在住)に依頼した。牧さんの迫力と情感あふれる語りは、「むかしむかし…」の紙芝居そのものである。

内容は、文章や絵は、小学校3年生以上を対象に作成したもので、16枚の絵から出来ており、くま事件がわかりやすく大人でも十分楽しめる。野澤委員長は「1枚の絵を完成させるのに約2時間を費やした。完成することができてうれしい」と話し、松岡事務局長は「後世に伝える手段がひとつ増えた。この紙芝居をもとに野生動物との共存共栄についても考えてもらえることが出来たら幸いです」と感想を述べた。

また、上映会を3月1日に町公民館で行い、くま獅子少年団の「くま獅子舞」も披露された。詳細は公民館 65 - 4076へ



完成品を手にする野澤委員長(左)と松岡事務局長(右)



紙芝居の一場面

平成十八年度留萌管内 ふれあいスキー大会 総合三位

二月十一日(日)小平町望洋台スキー場で、留萌管内ふれあいスキー大会が行われた。昨年まで開催されていたスノーシューエスタ冬季大会を継続するかたちで行われたが、管内的なスキー大会は本年度で終了する見通しだ。

大会は、幌延町を除く管内八市町村の選手百二十八名が出場し、大回転でタイムを競った。

苦前町からは二十五名がエントリー。男子壮年二部の瀬戸詔隆さん(力昼)と女子壮年三部の阿部まり子さん(苦前)が、昨年に続き優勝した。女子は小平町に続き二位で、男子は七位で、総合三位となり今年も女性パウーで、昨年の総合三位を堅守した。



初めてのバドミントン

二月十六日、成人講座の初心者バドミントン教室、二日目がスポーツセンターで開催された。定員いっぱいのお母さん方が、一時間三十分の教室で汗をたっぶりかき、日頃の運動不足やストレスなどを解消した。

町バドミントン協会の会員五名が講師となりほぼマンツーマンで指導した。受講生は基礎的なクリアーやドライブ、サーブなどの練習を行いルールも学んだ。

また、安心して教室に集中できるように託児所を設けるなど、お母さん方をバックアップしたこともあり受講生の上達も早く、三日目は試合形式を行うことができるほどになった。



受講生と講師の越後さん

九重地区でさわやか教室

二月九日、九重地区でさわやか教室が開催された。この教室は、認知症の予防教室として、毎月一回開催され、ボランティア協力員二名と町の福澤保健師が指導に入り、各種の楽しいゲームや健康相談などを行っている。

この日は、二十一人が出席し、「ペタンク」や「震源地はどこだ」などのゲームを行い大いに笑った。ペタンクは、昨年三地区(九重・古丹別・旭)対抗戦で優勝もしている強豪チームである。

また、午前中は、九重白葉会の例会も教室に合わせて開催しているが、福澤保健師は「参加したことがない方も誘い合いながら気軽に参加してほしい」と参加者を募っている。



ペタンクに取り組む参加者



とままえ寄席で福来る

二月二日（金）午後七時より町公民館和室にて、「とままえ寄席」が開催された。当日は約六十人が来場し、柳家さん喬師匠のゆかいで楽しい落語と鏡味仙三郎師匠のまりや傘などを使った曲芸に酔いしれた。

今年で三年連続の開催となる「とままえ寄席」は、羽幌町や遠別町、留萌市などの町外からのリピーターも多く、「とままえ寄席に来なければ新年を迎えた気分にならない」という町内の方もいる。

来場者は、落語のライブの楽しさと落語美学の素晴らしさをまじかで共有することができた。会場内は、終始笑いの渦が広がり、あっという間に三時間余りが経過した。



柳家さん喬師匠



鏡味仙三郎師

雪の家づくりに挑戦

2月18日（日）町公民館敷地内の空き地を利用して初めてのイグルーづくり体験が行われた。これは公民館事業の一環で、「親子の絆を深めよう事業」として開催した。森社会教育係長が管内の研修会で学んだイグルーづくりをすぐさま実践したものだ。

当日は、親子約20人が参加して、親子で楽しみながら汗を流し、床面積2㎡ほどのイグルーが完成した。イグルーは、外の冷たい風を遮る非常に断熱性の高い雪の家で、雪と氷に覆われたツンドラ地帯では欠かせない家である。

最初に子どもたちが雪のブロックになるように硬雪を切断、次にお父さんたちが雪のブロックを運び、下から順番に互い違いに積み上げながら、少しずつ角度も付けて行く手順。お父さん方は、汗を流しながら積み上げに必死、子どもはお母さんとその横で雪だるまづくりをする。森係長は「各家庭でもイグルーづくり挑戦し、完成後は家族みんなで焼き肉でも行ってみたい」と親子のふれあいの重要性について語った。



笑顔いっぱいイグルーづくりに挑戦する家族

雪原を歩くのは楽しい

2月18日（日）午前9時から町スポーツセンター主催の「スノートレッキング事業」が上平ウインドファームで行われた。参加者は小学生から一般町民まで24名が参加した。出発前の健康チェック後に、かんじきの現代版と言われるスノーシューを履いて準備完了。

道のない雪原を両手にストックをはめ、往復2キロのコースを2時間かけてゆっくりと景観を眺めながら歩いた。この日は、風もなく、風車群と日本海を見下ろすロケーションは、参加者のみが味わえるマル秘景観でもある。昨年の秋に風車群を一周するトレッキングを開催しているが、道のない誰も歩いていない雪原を一步踏み出す快感は何ともいえない感動ものである。参加者は汗びしょになりながらも、「春にまた企画してほしい」とリクエストの声があちこちから聞こえた。

健康こそお金に変えることのできない財産である。



スノートレッキングを楽しむ参加者

スポーツ安全保険のお知らせ（平成19年度分）

スポーツ安全保険は、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動などを行う子どもや大人を対象とする保険です。

3月1日より加入受付を行っております。

保険期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

4月1日以降の申し込みは翌日から有効

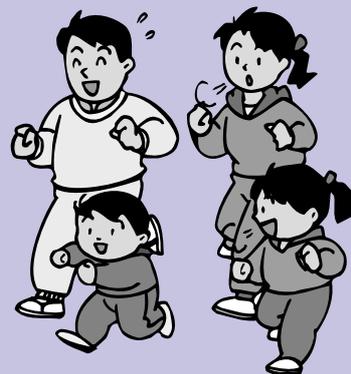
加入区分：子ども（中学生以下、団体活動のみ）	500円
子どもワイド（個人活動も対象）	1,050円
大人のスポーツ活動	1,500円
大人（文化・地域活動）	500円
老人クラブ等（60歳以上）	800円

上記金額の他に、振込手数料を負担していただきます。

・保険料の振込金額が10,000円未満の場合 100円

・保険料の振込金額が10,000円以上の場合 150円

苫前町公民館及び苫前町福祉センターで受付しております。



公民館図書室からのお知らせ

図書室サポーター募集！

町の子供達に本の楽しさを伝える活動をしていただける方を募集しています。

現在は読み聞かせや工作・料理教室、布のおもちゃ作りなど、サポーターの得意分野を活かした活動を行っています。

おもなイベント

『本とあそぼう』小さいお子さんと保護者を対象に読み聞かせや手遊びをしています。

『本を利用してやってみよう』小学生を対象に本を利用して工作や料理教室をしています。

『布のおもちゃ作り』布のおもちゃやエプロンシアター、紙芝居用バック作りをしています。

興味のある方は気軽に連絡下さい

公民館図書室（電話65-4076）【開館時間：午前10時～午後5時】

【休館日：月曜日（祝日の場合は開館）】

各社会教育事業を終えて～参加者からのこえ～

<風車ウォーキング事業>

まちの環境を活かし、健康に繋げることは素晴らしいことだと思います。

苫前の景色の良さを再認識しました。

<カンガルースクール>

とても楽しい時間を過ごすことができました。ボランティアさんがいるとは気が利いているとビックリしました。

<成人講座（筆ペン実用書道）>

まだ子どもが保育所と小学生なので、子どもがいない昼間にやってくれるととても助かります。

<とままえ寄席>

たいへんおもしろかったです。

太神楽の妙技は身近で観れて迫力がありませんでした。



～あなたの学びたいを応援します～

ご相談・お問い合わせは 苫前町公民館

でんわ 65 - 4076

e-mail syakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp

健康
ばんざい

子育て応援協力員を募集します

今月の担当は築瀬保健師です。



Q 子育て応援協力員

とは？

A 苫前町の乳幼児教室の開催時にボランティアで、お母さん達が参加しやすいように、赤ちゃんの託児をして頂く役割です。

Q 託児ってどんな事を

するの？

A 赤ちゃんのオムツ交換やミルク授乳、だっこ等を行います。お申し込み頂いた新メンバーには学習会を行い、赤ちゃんのお世話の方法について学んで頂く予定です。

育児を経験した事のない方も大丈夫です。

Q 回数は

どれくらいなの？

A 平成19年度の教室の回数はまだ未定なのですが、年間で5回以上になることはあります。日程の都合が良いときに合わせて、ご協力いただきます。

Q どのくらい

時間やるの？

A 苫前町公民館と苫前町福祉センターの2カ所のどちらかで行います。協力員さんの住んでいる地区に近い会場で行う際に、ご協力頂くこととなります。

赤ちゃんとお出かけの際は、とても楽しいですよ！興味のある方は、ぜひご連絡をおまちしています。

苫前町役場

町民課けんこう係

(64 2215 内線227)

担当 築瀬保健師

+ Dr.小野の処方せん

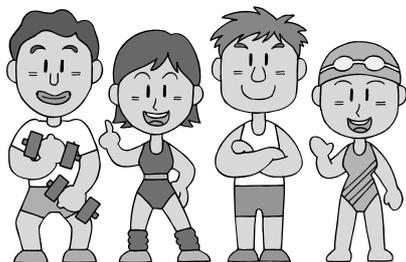
テーピングとは

テーピングとはノリのついたテープによる固定のことであり、関節、靭帯、腱の軽い補助により関節の可動制限と不安定の支持・補強などを目的とする。外傷・障害の予防、捻挫・肉離れなどの軽度外傷の治療、機能回復訓練の補助手段として用いている。

アスレチック・テーピングとは外傷発生の予防、早期からの機能回復訓練やプレーへの参加などを目的としたテーピングである。テーピングの実際は捻挫した時に損傷されやすい靭帯の補強であったり、関節の可動域の制限を目的として解剖学的に理にかなったものでなければならず、神経や血管を圧迫してはならない。テープには伸縮性、幅により数種類あり、部位により選択する。肢位については外傷を防止する矯正肢位もあるが、正常人では普通の肢位つまり中間位固定が望ましい。

注意点としては、皮膚を清潔にしてアンダーラップを用いる。高度な靭帯損傷や大きな関節不安定性ではギプス、装具、手術が必要である。テーピングは外からの補強であり、内からの補強として筋力強化と適切なストレッチングが先ず重要である。

苫前クリニック院長 小野 哲郎



子育て応援協力員の募集！



Q. 子育て応援協力員とは？

A, 苫前町の乳幼児教室の開催時にボランティアで、お母さん達が参加しやすいように、赤ちゃんの託児をして頂く役割です。

(詳しくはコラムをご覧ください。)

苫前町では、この子育て応援協力員さんの数が足りません。

子育て経験者はもちろん、まだ子どもはいないけれど、赤ちゃんが大好きでお世話してみたいと言う方、

ぜひお待ちしております!!!

申込み：苫前町役場町民課けんこう係
築瀬保健師までお願いします。

(64 - 2215 内線227)

みんなで築く

すこやかライフ

豊かな老後

国民健康保険・老人保健ガイド



(注意)
原則として、「限度額適用認定証」等を発行するのは国保税の滞納がない世帯とします。

平成19年4月からは、役場へ申請し、発行される「限度額適用認定証」を医療機関に提示することで、入院時の窓口での支払いが限度額までとなります。

Q 平成19年4月から70歳未満の高額療養費が変わると聞きましたが、どのように変わるのか教えてください。

国保・老健Q&A

自己負担限度額の計算方法（70歳未満の方）

所得区分	自己負担限度額	医療機関へ提示するもの
上位所得者 (国保税算定基礎から基礎控除後の総所得600万円以上)	150,000+ (総医療費-50万円×1%) 4回目以降83,400円	医療機関へ提示するもの 保険証 限度額適用認定証
一般 (上位所得者以外の課税世帯)	80,100+ (総医療費-26万7千円×1%) 4回目以降44,400円	医療機関へ提示するもの 保険証 限度額適用認定証
非課税世帯	35,400円 4回目以降24,600円	医療機関へ提示するもの 保険証 限度額適用・標準負担額認定証

介護保険・福祉Q&A

Q 65歳以上の介護保険料について教えてください？

A 介護保険第1号被保険者保険料（65歳以上の方）は、おおむね3年を通じて財政の均衡をはかります。したがって平成12年4月から始まった本制度は、平成15年度に1度改正を行い、平成18年度から次のとおり保険料を改正しております。

* 税制改正（高齢者の非課税限度額の廃止等）により段階が変更される方については、平成18年度及び平成19年度に限り保険料が緩和される場合があります。

平成15年～17年
基準額（月）3,450円

平成18年～20年
基準額（月）3,364円

基準額から算出した各段階ごとの年間保険料

段階	区分	新保険料額	これまでの保険料
第1段階	生活保護受給及び老齢福祉年金受給者	20,100円	20,700円
第2段階	住民税非課税世帯で年金収入額等の合計が80万円以下の者	20,100円	31,050円
第3段階	住民税非課税世帯で第2段階以外の者	30,200円	
第4段階	住民税本人非課税者（世帯課税）	40,300円	41,400円
第5段階	住民税本人課税者で合計所得金額が200万円未満の者	50,400円	51,700円
第6段階	住民税本人課税者で合計所得金額が200万円以上の者	60,500円	62,100円

お問い合わせ先
苫前町役場町民課しあわせ係
TEL 0164-64-2215(内線273)まで

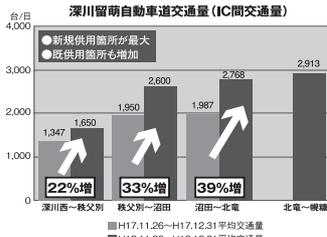
管内初の高規格道路 深川留萌自動車道

平成18年11月26日に開通した深川留萌自動車道北竜ひまわりIC～留萌幌糠ICの開通後の交通状況、利用者の満足度、交通事故の調査結果をお知らせします。



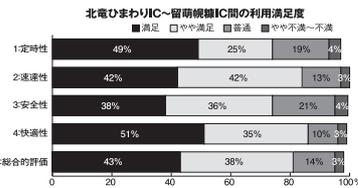
延伸及び峠回避の効果発現！

深川留萌自動車道各IC間の交通量は、区間別の最大は北竜ひまわりIC～留萌幌糠IC間平均約2,900台/日。既供用区間からの利用者の他に国道233号の美葉峠を回避するため利用するドライバーも多くなっています。既供用区間の平成17年との比較では1,650～2,768台/日と22%～39%増加しています。



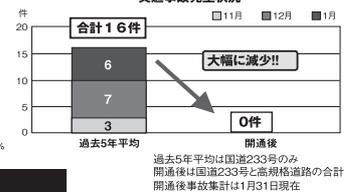
速達性、快適性に高い満足度！

開通後に実施した利用者アンケートでは、何れの項目も高い満足度となっています。特に、速達性、快適性が「やや満足」「満足」が80%以上と高い満足度が得られています。あなたの満足度はどうですか？



交通事故の減少！

開通区間と並行する国道233号美葉峠～幌糠までの区間では過去5年平均での交通事故発生件数(物損含む)は、11月が3件、12月は7件、1月は6件と3ヶ月合計16件発生していました。開通後の状況は国道233号、高規格道路ともに交通事故は発生しておらず大幅に減少しています。



有料区間はETC利用で割引に！

深川西ICより旭川方面、札幌方面は有料区間となりますが、ETCを利用することで各種割引が受けられます。詳しくは東日本高速道路株式会社ホームページをご覧ください。 http://www.nexco.ne.jp/etc_info/

留萌開発建設部 <http://www.rm.hkd.mlit.go.jp/>

国民年金の保険料は口座振替で納付すると、便利でおトクです

国民年金保険料を口座振替で納付すると、納め忘れや納付する手間が省け便利です。

さらに、口座振替なら現金で毎月納付するよりもおトクな「早割制度」や - 定期間をまとめて納付することにより割引される「前納制度」があります。

(尚、平成19年4月から国民年金保険料が改定され、平成19年度額は月額14,100円となります。)

口座振替のお申し込み方法等について (既に口座振替で前納(早割)されている方は再度申し込みの必要はありません)

お申し込み時期によっては、各制度をご利用できない場合がありますので詳細については、お近くの社会保険事務所へお問い合わせ下さい。お申し込みは各金融機関の窓口、または社会保険事務所受付けております。基礎年金番号の記入が必要となりますので年金手帳などの基礎年金番号がわかるもの及び預貯金通帳と届出印をこ持参下さい。申込用紙は、各金融機関、社会保険事務所の窓口または、社会保険庁ホームページ PC版 からプリントアウトして郵送で申し込みいただくことも出来ます。

「手をつないだらここが一番！ 見えてきた」



問：明るる天北オロロンルート運営代表者会議事務局
電話：0164-42-3871 FAX：0164-42-3856

■審査の結果は
最優秀賞には、留萌市の渡辺二夫さんの作品が選ばれ、優秀賞には、留萌市の塩谷洋次さん、今野昭夫さん、幌延町の山下智昭さんが選ばれました。※作品の展示は、決まり次第、お知らせ致しますのでお楽しみに。



■「明るる天北オロロンルート フォトコンテスト」を開催
これからの留萌管内の観光と地域づくりを推進していくため、また、留萌管内の新たな魅力を発掘していくことを目的に、「四季折々の留萌管内の感動風景、風土、生活、ネイチャー」をテーマに皆さんから写真を募集した結果、99点の応募を頂きました。2月8日(木)には、写真家の寺澤孝毅氏をアドバイザーとしてお招きし、フォトコンテストの審査会を開催しました。

明るる天北オロロンルート ③

風力発電の売電状況

(町営3基 風来望)

18年 売電実績 (3～H19.2月)

44,236,831円

平成19年2月分の実績

・供給電力量 439,720kWh

5,517,386円

苫前町の交通事故情報

平成18年1月末現在

発生件数 死者数 負傷者数

0件 0人 0人

交通事故死ゼロ日数は

1月31日現在で1004日

平成19年度から定年引上げ等の義務年齢が63歳に上げられます

「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」により、65歳未満の定年を定めている事業主は、

- (1) 定年の引上げ
- (2) 継続雇用制度の導入
- (3) 定年の定め廃止

のいずれかにより、平成19年度からは、少なくとも63歳までの雇用確保措置を実施することが義務付けられています。

詳しくは、最寄りのハローワークまたは北海道労働局職業安定部職業対策課(電話011-709-2311内線3683)までお問い合わせ下さい。

「融雪と洪水について」



今月は、「融雪と洪水」についての話をします。

冬の厳しい寒さも終わり、春に向けて緩やかに気温も上昇し、道路には雪解け水が溜まる季節となりました。これから、積雪の多い山間部では雪解けが進み、そこへ雨が降ると一気に雪が解けて水かさが増し、流れも急激に速くなります。河川の増水や氾濫などの災害も発生します。小川であるところと油断は禁物で、近づかないなどの対応が必要になります。

また、雪解けが進むと、屋根に積もった雪が落ちるなど、落

雪による事故も起こりますので注意が必要です。

気象台ではこの時期になると、雪の解ける量や雨が降る量を考慮し、低い土地の浸水などが予想される場合は「融雪注意報」を発表し、更に洪水の恐れがある場合は「洪水注意報」や「洪水警報」を発表し注意・警戒を呼びかけます。

注意報や警報などの気象情報は、テレビやラジオのほか、インターネットのホームページでもご覧になれます。

旭川地方気象台
ホームページアドレス

<http://www.sapporojma.go.jp/>

asahikawa.html

問い合わせ先

旭川地方気象台防災業務課

電話：〇一六六三三二一〇一

羽幌警察署からのお知らせ

少年非行・犯罪被害の防止と有害環境の浄化

卒業、春休み、新学期を迎え、浮ついた気持ちから、飲酒や喫煙、深夜の徘徊、万引き等、少年非行が多発する時期です。

飲酒・喫煙は法律で禁じられているのももちろん、成長期の身体に多大な悪影響を与えるばかりでなく、薬物乱用などの危険な行動につながってしまうのです。

万引きは窃盗罪に当たるときとした犯罪です。自分が万引きしていなくても、命令する、見張る、盗んだ物をもらうことをすれば、同罪となります。

携帯電話やパソコンが普及するにつれ、それらを使って、中高生が出会い系サイトなどを利用して各種犯罪に巻き込まれるケースが増加しています。

出会い系サイトを利用して援助交際を誘ったりすれば、犯罪になりますし、興味本位で利用しただけで凶悪な犯罪に巻き込まれる危険性ははらんでいます。

周りの大人は子供の発するサインを逃さないようにし、注意する時はきちんと注意して、普段から子供と対話の機会を持つようにしましょう。

国税庁からののお知らせ

国税庁では、e-Taxを多くの皆様にご利用いただき、また、利用される皆様にとって利用しやすいシステムにしていきたいと考えています。

そのため、e-Taxホームページにおいて、2月1日(休)からe-Taxの利用に関するアンケート(無記名書込方式)を実施しています。皆様から広くご意見をお寄せいただき、今後の機能改善等の参考とさせていただきますと考えておりますので、ぜひ、アンケートへのご協力をお願い致します。

なお、アンケート結果につきましては、6月下旬頃にe-Taxホームページ上で公表する予定をしております。

e-Taxホームページ www.e-tax.nta.go.jp

アンケートは5月18日(金)まで実施しています。

クリック



凧あげ大会除雪
ボランティアに
感謝します

ハラダ工業(株) 苫前支店長
滝本和浩 様
堀松・ハラダ・西村J.V 様

戸籍の小箱

謹んでお悔やみ申し上げます

氏名	年齢	死亡日	住所
菅野アサ子	(82歳)	1月27日	苫前別
前阪 シノ	(107歳)	2月1日	苫前
田口千江子	(74歳)	2月6日	苫前別
廣谷 外一	(75歳)	2月12日	苫前別
鈴木 政利	(62歳)	2月12日	旭
阿部 一幸	(60歳)	2月10日	苫前別
能戸 和子	(75歳)	2月13日	苫前別

「ご厚志に感謝します」

社会福祉協議会への寄付

古丹別 菅野 義一 様	苫前 菅野 富栄 様	各町内会・団体等への寄付	力屋町内会 芳信 様	力屋町内会 芳信 様	余市町 増正 美 様	力屋老人クラブ 川正 美 様	力屋 大川 三工 様
-------------	------------	--------------	------------	------------	------------	----------------	------------

